



小川かつみ 後援会 News



自由民主党東京都参議院比例区第39支部長・日本理学療法士協会副会長

NO.4

激震を乗り越えて

災害時における理学療法士の役割

鈴木俊一 衆議院議員と対談しました

自民党「リハビリテーション」を考える議員連盟

副会長の鈴木俊一衆議院議員と自由民主党参議院比例区支部長の小川かつみの対談が、平成28年5月8日(日)鈴木衆議院議員の地元、岩手県滝沢事務所で行われました。当日は、櫻田義樹さん(一般社団法人岩手県理学療法士会会長)、石田英恵さん(宮古・山田訪問リハビリテーションゆづる管理者)、佐藤益文さん(山手県理学療法士連盟委員長)、野中一成さん(岩手県理学療法士連盟副委員長)も同席しました。

東日本大震災復興特別区域法下における(財)訪問リハビリテーション振興財団の訪問リハビリテーション事業についてお聞かせください。

震災以降、多くの住民が県外に避難され、医療、介護資源の不足を解決するため、地域住民、医師など、また自治体からの要請を受ける形で本財団は設立されました。全国のリハビリテーション専門職で構成された本財団の職員は、被災地で訪問リハビリテーションを実施する在宅ケアの質的、量的拡充を図り、病気や障害があっても生き活きと安心して暮らせる社会づくりに貢献し、国民の健康と福祉の向上に寄与しています。

鈴木衆議院議員 岩手県理学療法士会の方々には、震災一か月後には陸前高田市に入つてのボランティア活動をしていただきました。瓦礫の撤去が難航し多くの方が長い



避難所生活をしていましたね。

小川かつみ 巡回保健師の情報を頼りに、生活不活発に陥っている被災住民に対して個別に訪問して、運動指導、動作指導を行い、要介護者を介護して疲弊しているご家族等に対してはデイサービスなど活用を提案し、支援させていただきました。

利用者が年々増加傾向にあるようですが、岩手県(宮古市)、福島県(南相馬)、宮城県(気仙沼)の各訪問リハビリテーションの活動状況をお聞かせください。

小川 被災地特区における地域の医師、介護支援専門員などと連携して安定した事業運営をしています。生活活動性低下予防を目的に高齢者を対象とした運動・動作指導、訪問型介護予防教室、要介護高齢者を介護する家族のための教室、被災地住民の健康向上を目的とした交流事業など、地域包括支援センターの職員や自治体からの協力要請が増加し、いずれも高い評価をいただいています。

鈴木 被災地の医療・介護施設はまだ復興途中ですが、施設との連携などはうまく取れていますか？

小川 この度、訪問リハビリテーション財団が実施した実態調査報告によれば、医師の75.3%、介護支援専門員の97.2%が今後も訪問リハビリテーション事業を継続すべきと回答されています。また、利用者・家族の88.8%がサービス提供を必要としており、現在のサービス内容に対しても同率で満足していると回答されています。

鈴木 利用者は年々増えているようですね。震災特区法は、28年度末を二応の期限とされていますが、政府としては延長も含め、被災地からの要望に沿うというのが基本的な方針です。

小川 ありがとうございます。利用者が増えている現在、特区適用が終了すればリハビリ専門職は帰郷してしまい被災地の訪問リハビリテーション提供体

制が崩れ、支援が必要な方々が置き去りにされてしまう恐れがあります。

鈴木 そうですね。地域の皆さまが安心安全に暮らせる体制が何よりです。訪問リハビリテーション事業の現場の声が届くよう、市町村や県からの申請を踏まえながら私としても当然応援したいと思います。

「ゆづる通信(岩手)」を読ませていただきました。このようなきめ細やかな情報発信が大切ですね。

小川 地域の方々のご要望にお力添えをどうぞよろしくお願致します。

東日本震災後設立された、J R A T(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)でさらにきめ細かな災害支援体制を構築されているようですが、一般の熊本・大分地震についてお聞かせください。

小川 私は九州を回っている最中で14日に熊本から宮崎に入りまして、そこで1回目の激しい揺れに遭いました。16日の本震も宮崎のホテルで就寝中でしたが、二晩続けての尋常でない揺れに、翌日以降の予定をキャンセルして熊本に戻りました。17日からは日本理学療法士協会副会長として、現地対策本部を設置し、会員の安否確認及び被災状況の把握を含めての初期支援に取りかかりました。5日目頃からJ R A Tが動き始めましたので、J R A Tの動きに協働するようにしました。

鈴木 震度7の激震が、二度も見舞われたとのこと、今でも余震が続く中、ますますすべての被害状況もみえてないとのことですが…

小川 報告では、行政の中核を担う庁舎や医療・福祉施設の被災が原因で、外部からの支援が軌道に乗るまで初期対応が遅れたようです。私自身は車中避難者の多さが気になっており、エコノミークラス症候群の発生を予防するために啓発チラシなどを熊本県理学療法士協会にお願いして配布して貰うよ



うにしましたが、それでも死亡者発生
のニュースは極めて残念に思っています。

鈴木 被災する以前に、宮古市の復興特
区のような地域の支援拠点が多くあれ
ば障害をお持ちの方や高齢者に対す
る初動対応が速やかに開始され、その
後の外からの支援活動にも結びつけら
れる。地域包括ケアシステムでも今回
のような震災においても、地域の拠点
は必要です。

小川 仰る通りです。今回、平時から地
域に根差したきめ細やかな支援拠
点が存在することの意義について改
めて考えさせられました。それぞれの
命を守ることでできたあとは復興に
向けての意識転換と具体的行動です
が、被災者にとっては大変な被害を
受けた自宅などを目的にして決して
容易なことではありません。それ
らの活動することが求められます。そ
れらを支えるための機能を持った地
域支援拠点としての複合かつ包括的
な支援拠点を制度化することも必要
だと強く思いました。それらの実現
に向けて今後ともご教示ならびに
ご支援をよろしくお願ひいたします。

最後に、「このたびの災害におい
てもDMAT(災害派遣医療チーム)の
出動に始まり、JMAT(日本医師会
災害医療チーム)とJRAAT(日本
医師会災害医療チーム)が協働され
長い目で「地域のリハビリテーシ
ョン」に取り組みられています。専
門職として小川さんの具体的な考
えをお聞かせください。

小川 JMATとJRAATは、医療ニ
ーズのある方を掘り起こし、適切に
対応するという役目を持っています。
面接時点では医療ニーズのない方
も放置されることにより医療ニ
ーズを秘めていることから、リハ
ビリテーショナル専門職が積極的
に予防的介入をする必要と実感
しました。発災直後か



ら言わばリハビリトリージングと
言ってもいいかもしれませんが、そ
うした機能を発揮し、JMAT、
JRAATに「なぐ」ことが出来
れば円滑に支援がスタートする
のではないかと思います。さら
に、非常時対応も視野に入れた
複合的機能を有する地域包括
支援拠点等を地域に設置する
こと、そしてそこにリハビリ
テーション専門職を積極的に
配置することによって日常的に
国民の健康と暮らしを守るこ
とに大きく寄与できるのでは
ないかという思いを強くしま
した。



女性部役員の皆さま ▲女性部長の谷口千明氏

「安心して幸せな未来のために…」
日本理学療法士連盟に、「女性部」誕生!

「政治」という言葉は、過去の歴史の
所為なのか…つい敬遠しがちなのが女
性と若者ではないでしょうか。若者は

青年局にお任せするとして、女性部
では「安心して幸せな未来のために…」
というビジョンを掲げ、安心して働
き続けられる社会を実現するために、
女性性の視点での政策提言をしてい
きたいと考えています。

日本理学療法士協会は平均年齢
32.8歳という若い団体であり、その
約4割は女性です。自分たちが安心
して働き続けられる社会を実現する
ためには、自ら声を上げ、国政に届
ける必要があります。輝ける理学療
法士の未来のために、より良い社会
の実現のために、価値ある未来のため
に、小川かつみ先生を全力で応援し
ます！どうぞ、よろしくお願ひいた
します。

(日本理学療法士協会理事/日本理
学療法士連盟女性部長 谷口千明)

18歳選挙権

進む高齢化社会 理学療法
士の若い世代が生み出す力

日本では急速に少子高齢化が進むと
も、高齢者の投票率が若い世代の
投票率を大きく上回っています。高
齢者の投票率が高いということは
高齢者の意見が政治に反映され
やすく、若い世代への手当てが
十分に行えないということもな
ります。

今回の18歳選挙権の実現は、若い
世代の人たちへ自身が社会の担
い手であるという意識を芽生え
させ、政治に対する関心を深め
るよいきっかけとなります。

理学療法士は保健下で働いてい
るため、生活は診療報酬に影響さ
れるのを「ご存知ですか？」

理学療法士としての仕事は多様
に変化

する社会から国民を守る仕事です。国
の情勢に対応すべく代弁者を送り
政策提言をしていく必要があります。そ
うして誇りをもって自分達らしい生
き方をしたいのです。

数少ない若い世代が、増加してい
く高齢世代を支えていく社会、ま
た高齢者と若者が共生する日本
の未来社会を作っていきます。

価値ある未来へあなたの一票を
待っています！



活動予定 6月

- 6/1~6 埼玉・神奈川
- 6/7 大分
- 6/8~16 東京→山梨→神奈川→石川→福井
- 6/17~21 愛知→静岡→長野→東京→高知
- 6/22 第24回参議院議員通常選挙公示日
- 6/22 東京・埼玉
- 6/22~7/9 各地で演説会開催
- 7/10 投票日

参議院議員選挙の投票の方法

選挙区選挙

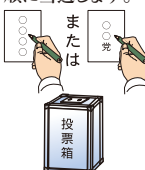
候補者名を書いて投票します。



投票日に仕事や旅行などで、投票に行けない方は
期日前投票・不在者投票をしましょう

比例代表選挙

名簿に記載された候補者の氏名、または政党名で投票者名を記入し、得票数が多い順に当選します。



小川かつみ後援会ホームページ
http://ogawa-katsumi.com/



Facebook
https://www.facebook.com/ogawakatsu3/